0ATGE64　適正技術教育

3.0 単位, 1・2 年次, 通年 応談
入江 賢児

授業概要

現地(途上国、国内過疎地域)のニーズ、文化、環境、人などを考慮したうえで、現地の人に必要とされる最善の技術を創出する。それにより、これからの社会で必要とされる問題解決力、現場対応力、起業力を身につける。
1. 適正技術の科目の履修に必要な基礎知識(適正技術教育、途上国や過疎地域の現状、フィールド活動等)について、講義と討論により学修する。
2. 現地(途上国、国内過疎地域)のニーズ、文化、環境、人などを考慮したうえで、現地の人に必要とされる最善の技術を創出する。
授業項目:
(1) 適正技術教育入門の受講
(2) 現地(途上国、国内過疎地域)へのフィールドトリップ
(3) 途上国向けの製品開発と討議、最終報告会での発表
(4) (1)~(3)のレポートの提出

備考

英語で授業。
対面(オンライン併用型)

授業方法

講義

学位プログラム・コンピテンスとの関係

マネジメント能力、リーダーシップ力、国際性、突破力

授業の到達目標（学修成果）

社会で必要とされる問題解決力、現場対応力、起業力を身につける。

キーワード

適正技術, 途上国, 国内過疎地域, フィールドトリップ, 製品開発, 問題解決力, 現場対応力, 起業力, マネジメント能力

授業計画

6月～7月(コースの授業時間外) 適正技術教育の基礎を学ぶ(e-learningコンテンツを利用した自己学修)
8月～9月(コースの授業時間外) 現地(途上国、国内過疎地域)へのフィールドトリップ
10月～12月 途上国向けの製品開発と討議(講義6回)
12月 最終報告会での発表、レポートの提出

履修条件

成績評価方法

フィールドトリップの提案書、報告書、開発した技術の提案と発表により評価する。
A＋（90-100）は、到達目標に達し、きわめて優秀な学修成果をあげた受講生に与えられる。
A（80-89）は、到達目標に達し、優秀な学修成果をあげた受講生に与えられる。
B（70-79）は、到達目標に達した受講生に与えられる。
C（60-69）　は、到達目標に最低限のレベルで達した受講生に与えられる。
D(59点以下)　は、到達目標に達していない受講生に与えられる。

学修時間の割り当て及び授業外における学修方法

6月～7月(コースの授業時間外) 適正技術教育の基礎を学ぶ(e-learningコンテンツを利用した自己学修)
8月～9月(コースの授業時間外) 現地(途上国、国内過疎地域)へのフィールドトリップ
10月～12月 途上国向けの製品開発と討議(講義6回)
12月 最終報告会での発表、レポートの提出

教材・参考文献・配付資料等

オフィスアワー等（連絡先含む）

その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）

適正技術教育ホームページ https://apptechtsukuba.com/

他の授業科目との関連

ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）